

# 福島退公連 会報

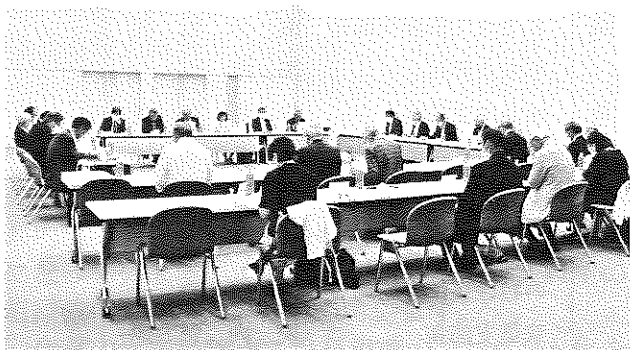
発行日 令和6年(2024年)7月20日  
 発行者 室 井 勝  
 発行所 福島県退職公務員連盟  
 〒960-8043 福島市中町5-21(消防会館)  
 TEL・FAX 024(522)0612  
 URL <https://fukushima-taikouren.com>



## 令和6年度支部連絡会議開催 日時 令和6年5月20日(月)午後1時 場所 郡山市 ビッグバレットふくしま

令和6年度の支部連絡会議が県本部役員と県内各支部の事務局長が出席し開催されました。

会議は、会長挨拶に続き、各支部活動について発表と協議を行いました。



会長から退公連活動の再確認と再構築、今年度の要望活動及び組織拡大について取り組んでいきたいとの挨拶がありました。

### 〈支部活動の現状について〉

各支部の事務局長からそれぞれの課題について発表があり協議が行われました。

主な内容は次の通りです。

#### 1. 支部活動の通常化に向けての取り組みと今後の課題について

コロナ前に比べ、概ね平常に戻りつつあります。昨年度は、研修会、ボランティア活動、懇親会なども実施できた支部が多くありました。

福島支部では、1日研修旅行に興味のある会員でない方にも参加していただき、その後会員になっていただいた方がいます。年金研修会では一般・現職の方にも参加いただきました。

また、北会津支部では、ホームページの立ち上げや、「秋のつどい」での作品展示やステージ発表を公開して一般の方にも観ていただきました。

他の支部でも工夫・改善を図ったという行事が見られ、今後も改善していきたいとの発表がありました。

いわき支部では、5年度はコロナ等で活動できませんでしたが、6年度は「防御策を立てて実施しよう」ということで計画を立てています。

双葉支部では、コロナ禍以前というよりは震災以前にも戻っていないという現況の中で退公連の

スローガン「双葉の火は消さない」を維持していくことが最も大事な目標と思っています。退会したいという方もいる中、多くの会員の方に入会していただきたいという気持ちを込め、支部長を中心に3、4名で活動をしています。

#### 2. 支部役員の実状と課題について

高齢化や再任用の関係で役員人数が揃わず苦慮しているとのことでした。若返りも必要と感じていますが、引き受け手がなく、兼務等で対応せざるを得ない現状です。

岩瀬支部では、役員は若くてよいのだが、働いているため出席が困難。石川支部では、退公連と退職校長会の兼ね合いが難しく、役員のお願いは65歳以上。白河支部では、年金生活の安定する65歳から70歳は支部のため奉仕していただくような環境を作ることが必要。という状況です。

また、地区委員の配達業務の改善(日公連新聞配達の半減など)が必要との意見が多くありました。

#### 3. 会員勧誘の実状と課題について

どの支部も退職年齢の引き上げにより新入会員が少なく減少傾向が加速しているとのことでした。

会員減少に歯止めをかけるためには、現職会員との交流や、会員以外の方とのふれあいを通し、退公連の意義・役割・楽しさ・実績等を共感してもらうことを大切にしたいとのことでした。

会津坂下支部では、新入会員勧誘のためのパンフレットを支部独自で作成し配布しました。

このほか、退公連活動を多くの方々に知っていただくために、「ホームページの活用」により、情報発信に積極的に取り組んでいくこととしました。

また、相馬支部では総会、学習会等の開催時にのぼり旗を使用し、「退公連活動の見える化」に取り組んでいる例が紹介されました。



相馬支部ののぼり旗

# 令和6年度 福島県退職公務員連盟役員

今年度役員改選期にあたり、評議員会で承認されました。どうぞよろしくお願ひします。

(任期 令和6年6月1日～令和8年3月31日)

事務局職員 職名	氏名	備考
会長	室井 勝	○
副会長	郷 修二	
" (福島支部長)	齋藤 文和	
" (郡山支部長)	村上 光市	
" (北会津支部長)	成田 正良	
" (いわき支部長)	草野 義教	
専務理事・事務局長	大橋 茂信	
理事・組織部長	茅原 秀雄	
理事・年金部長	秋山 時夫	
理事・女性部長	三浦 彰子	
理事・福祉部長	高橋 寛信	
理事・広報部長	大崎 孝一	
理事・事務局員	高橋 幸子	

幹事	今泉 秀記
幹事	吉田 政弘

備考の○印は新任、その他は再任

評議員	伊達支部長	佐藤 吉則	○
	福島支部副支部長	阿久津 文作	
	安達支部長	渡邊 文勝	
	郡山支部副支部長	吉津 等	○
	岩瀬支部長	佐々木 光治	
	石川支部長	高原 榮征	
	白河支部長	佐藤 正弘	
	東白川支部長	面川 春男	
	北会津支部副支部長	渡部 和俊	
	耶麻支部長	矢部 宥一	
	西会津支部長	伊藤 正憲	
	会津坂下支部長	佐藤 孝信	
	大沼支部長	山口 健	
	南会津支部長	星 文人	
	いわき支部事務局長	団野 勝一	
	双葉支部長	矢内 賢太郎	
	相馬支部長	浜名 俊明	
警友会専務理事	長谷川 栄治		

東日本大震災 被災・避難者の皆様へ  
あの日から13年が過ぎました

私たちは忘れません あなた方を

退職公務員連盟会員の皆さまのための

## 団体傷害保険のご案内

# 0120-216-226

団体総合生活補償保険(標準型)

申込期間：2024年7月1日～2024年11月30日

保険期間：2025年1月1日午後4時～2026年1月1日午後4時

お申込みはフリーダイヤルにご連絡ください

加入年齢の制限なし

健康の告知なし

5%の団体割引有り

基本補償金額		保険料 (年間保険料)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●入院中の手術：30,000円</li> <li>●入院中以外の手術：15,000円</li> <li>●ケガで入院：3,000円(1日あたり)</li> <li>●ケガで通院：1,500円(1日あたり)</li> <li>●ケガで死亡：300万円</li> <li>●ケガによる後遺障害：12万円～300万円</li> </ul>		Aプラン本人型 (職種級別A)	
		12,240円 (1年間)	
		Bプラン夫婦型 (職種級別A)	
		22,650円 (1年間)	
オプション	日常生活賠償保険	1億円	1,540円
	横行品損害保険	30万円	本人型 2,030円 夫婦型 2,420円

(代理店・扱い者)  
 三井住友トラスト・ライフ・パートナーズ 株式会社 本店営業部  
 東京都千代田区神田錦町3-11-1  
 (引受け保険会社)  
 三井住友海上火災保険株式会社 金融法人第二部  
 営業第一課 東京都千代田区神田駿河台3-11-1

その“わ”

## 会員数の減少が続く中での組織強化

南会津支部長 星 文人



南会津支部の組織については、会員数の減少傾向が続いているのが現状です。令和3年度から今年度にかけて26名の減少があり、今年度当初の会員数は123名になっています。職種別でみると教職員

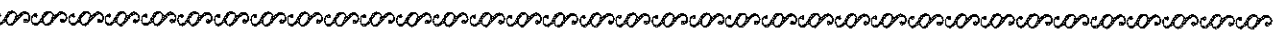
107名・県職員9名・市町村職員3名・県警察2名・郵政2名で教職員が中心になっています。人数は少ないですがこのように多様な職種から成っているのも南会津支部の特徴かと思えます。ここ20年ほどの役員組織をみてみると、支部長経験者は5名ですがその職種は教職員が3名・県職員が2名となっています。

定年退職後の再任用の常態化、2年単位で定年の年齢が1年延長されていく制度の導入、それに郡内出身の退職者の減少などが会員数減少の要因になっています。このような傾向を受け入れての組織強化対策が必要になっています。

会員の減少に伴って役員組織のコンパクト化を

段階的に進めてきています。各専門部にはそれぞれ部長・副部長を置いていましたが、組織部・年金部・福祉部は部長1名だけとしています。支部運営の中心は、支部長・事務局長・庶務5名・会計からなる年間8回の事務局会です。年金部長と広報部長は庶務を兼任する形にしています。さらに今年度から県職員退職者の組織部長も庶務を兼任することにして、年間を通して新退職者や未加入者の情報を収集しながら事務局会の中に勧誘活動の内容を位置づけることにしています。

今年度の状況としては、年度末の退職教職員4名に「入会案内」を郵送したり家庭を訪問したりして勧誘してきました。5月末現在で2名の入会者がありました。うち1名は再任用者だったので、このケースもあることを今後の未加入者の勧誘に活かしていきたいところです。それと退職公務員関係団体(県職員・市町村職員・校長会)と連携した研修会での交流が組織強化の一助になればと期待しているところです。



You愛

## 関連各部との合同協議による活動計画の作成

いわき支部女性部長 伊藤弘子



いわき支部女性部の活動は、コロナ禍以前には、ふれあい旅行や慰問活動を実施していたが、コロナ禍では計画された活動が実践できずに終わった。

昨年度は、新企画として「ビバ！親睦の集い」を計画し、会員の隠し芸を思う存分披露し、楽しむ予定であったが、予定の1ヶ月前からコロナ拡大傾向やインフルエンザ流行の理由でやむなく中止とした。

今年度は、61歳定年退職の決定等から会員減少がますます危惧される。このような状況から現職者が退職後に進んで入会したくなるような退職公務員連盟であるためには、何をすべきかをしっかりと考え直す時期でもある。そんな観点から活動計画を作成するための話し合いを大切にしたい。その結果、今年度は会員の楽しみや交流を深めながらも、女性部としても組織強化を意識的に取り組みながら活動することを提案した。

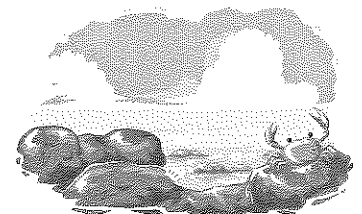
その一つとしての活動は、奉仕作業である。退職公務員連盟の活動の様子を会員だけでなく、退

職者および現職の公務員の方々に理解して頂くことができれば、退職後には、この組織の一員になりたいと思う方が増えるのではないかと期待感で、奉仕作業という活動は決定された。

活動計画の決定までには女性部・福祉部・事務局員が十分に知恵を出し合った。元県市職員、警察、教員が集まると、それぞれの経験から一つの活動を練っていくことができ、危惧される部分は全て解決でき、内容のしっかりした計画ができた。

5月に決定した計画は、6月に会員に知らせ、7月上旬に「いわきの海をきれいに！」の奉仕作業実施である目的は(1)退職後も全体の奉仕者の精神を大切に(2)組織のアピールを活動で示し、後輩達が進んで入会できる組織作り(3)会員相互の親睦を深めるの3点である。

活動予定日には、いわき市四倉海岸に、はためく退公連いわき支部の幟旗が活動する会員達を見守ってくれるだろう。



<年金情報コーナー>

### 公的年金「財政検証」の結果公表

公的年金制度は長期的に安定的に運営される必要があります。このため少なくとも5年ごとに、財政の現況と見直し、いわゆる「財政検証」が行われます。本年がその年で、この7月に検証結果が公表されました。検証結果の概要は厚生労働省のHPを参照。

翌日の各紙の見出しは「年金水準 33年後2割減(地元紙)」、「年金見直し改善」(A紙)、「年金現役収入の5割維持」(M紙)でした。評価の視点により異なりますが大筋見出しのとおりです。

また、検証の中で次の五項目を実施した場合をオプションとして検討されました。

- ① 厚生年金の被保険者(加入者)の更なる拡大
  - ・短時間労働者の企業規模や個人事業所における非適用業種の範囲を見直した場合
  - ・賃金要件や労働時間要件についても見直し、一定程度働く被用者をすべて適用対象とした場合
- ② 基礎年金の拠出期間延長・給付増額
  - ・基礎年金の拠出期間を現行の40年(20~60歳)から45年(20~65歳)に延長し、拠出期間が延びた分、基礎年金を増額する仕組みとした場合
- ③ マクロ経済スライドの調整期間の一致
  - ・基礎年金(1階)と報酬比例部分(2階)にかかるマクロ経済スライドの期間を一致させた場合
- ④ 在職老齢年金制度
  - ・就労し、一定以上の賃金を得ている65歳以上の老齢厚生年金受給者を対象に、当該老齢厚生年金の一部または全部の支給を停止する仕組み(在職老齢年金制度)の見直しを行った場合
- ⑤ 標準報酬月額の上限
  - ・現役世代が負担する厚生年金の保険料の基礎となる標準報酬月額の上限(現行65万円)の見直しをした場合

今後、検証結果をもとに①から⑤について議論がなされていくものと思われます。

### +++++【事務局だより】+++++

能登半島地震の義援金ありがとうございました

各支部での取組みにより多額の浄財が寄せられ、5月29日に日公連に1,263,000円を送りました。



### ◎今後の予定

8月 各支部対応による国会議員に対する夏季要望活動の実施

8月19日(月) 第2回理事会

9月5日(木) 県大会「福島大会」

場 所 福島市 パルセいいざか

「福島大会」は6年ぶりの開催となります。多くの会員の参加をよろしくお願いいたします。

### 《百歳万歳》

ご長寿おめでとうございます。百歳賀寿を受けられた方です。

〔耶麻支部〕 樋口 蝶子様  
大正10年2月1日生まれ

〔耶麻支部〕 山崎 甚二郎様  
大正13年3月17日生まれ

〔双葉支部〕 吉田 富子様  
大正12年7月8日生まれ

### 編集後記

各支部とも、新体制で順調なスタートが切れ、活動も軌道に乗ってきたことと思います。

今年度の年金額は2.7%引き上げられ、6月から増額支給されました。しかし、物価変動率が3.2%で実質的には目減りしています。

6月から30度を超える日が続いています。今年も暑い夏となるのでしょうか。暑さに負けないで爽やかな秋を迎えたいと思います。